

[医学概論]

[目 標]

1. 人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。
2. 人の身体構造と心身機能について理解する。
3. 健康・疾病の捉え方について理解する。
4. 疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解する。
5. 公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。

[内 容]

1. ライフステージにおける心身の変化と健康課題
 - 1) ライフステージにおける心身の変化と健康課題
 - 2) 心身の加齢・老化
 - 3) ライフステージ別の健康課題
2. 健康及び疾病の捉え方
 - 1) 健康の概念
 - 2) 疾病の概念
 - 3) 国際生活機能分類(ICF)
3. 身体構造と心身機能
 - 1) 人体部位の名称
 - 2) 基幹系と臓器の役割
4. 疾病と障害の成り立ち及び回復過程
 - 1) 疾病の発生原因
 - 2) 病変の成立機序
 - 3) 障害の概要
 - 4) リハビリテーションの概要と範囲
 - 5) 疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション
5. 公衆衛生
 - 1) 公衆衛生の概要
 - 2) 健康増進と保健医療対策

[心理学と心理的支援]

[目 標]

1. 人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。
2. 人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。
3. 日常生活と心の健康との関係について理解する。
4. 心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる。

[内 容]

1. 心理学の視点
 - 1) 心理学の歴史と対象
 - 2) 心を探求する方法の発展
2. 人の心の基本的な仕組みと機能
 - 1) 心の生物学的基盤
 - 2) 感情・動機づけ・欲求
 - 3) 感覚・知覚
 - 4) 学習・行動
 - 5) 認知
 - 6) 個人差
 - 7) 人と環境
3. 人の心の発達過程
 - 1) 生涯発達
 - 2) 心の発達の基盤
4. 日常生活と心の健康
 - 1) 心の不適応
 - 2) 健康生成論
5. 心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本
 - 1) 心理アセスメント
 - 2) 心理的支援の基本的技法
 - 3) 心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要
 - 4) 心理の専門職

[社会学と社会システム]

[目標]

1. 現代社会の特性を理解する。
2. 生活の多様性について理解する。
3. 人と社会の関係について理解する。
4. 社会問題とその背景について理解する。

[内容]

1. 社会学の視点
 - 1) 社会学の歴史と対象
2. 社会構造と変動
 - 1) 社会システム
 - 2) 組織と集団
 - 3) 人口
 - 4) グローバリゼーション
 - 5) 社会変動
 - 6) 地域
 - 7) 環境
3. 市民社会と公共性
 - 1) 社会的格差
 - 2) 社会政策と社会問題
 - 3) 差別と偏見
 - 4) 災害と復興
4. 生活と人生
 - 1) 家族とジェンダー
 - 2) 健康
 - 3) 労働
 - 4) 世代
5. 自己と他者
 - 1) 自己と他者
 - 2) 社会化
 - 3) 相互行為

[社会福祉の原理と政策]

[目 標]

1. 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。
2. 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。
3. 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。
4. 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。
5. 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。
6. 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。
7. 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。

[内 容]

1. 社会福祉の原理
 - 1) 社会福祉の原理を学ぶ視点
2. 社会福祉の歴史
 - 1) 社会福祉の歴史を学ぶ視点
 - 2) 日本の社会福祉の歴史的展開
 - 3) 欧米の社会福祉の歴史的展開
3. 社会福祉の思想・哲学、理論
 - 1) 社会福祉の思想・哲学
 - 2) 社会福祉の理論
 - 3) 社会福祉の論点
 - 4) 社会福祉の対象とニーズ
4. 社会問題と社会構造
 - 1) 現代における社会問題
 - 2) 社会問題の構造的背景
5. 福祉政策の基本的な視点
 - 1) 福祉政策の概念・理念
6. 福祉政策におけるニーズと資源
 - 1) ニーズ
 - 2) 資源

7. 福祉政策の構成要素と過程
 - 1) 福祉政策の構成要素
 - 2) 福祉政策の過程
8. 福祉政策の動向と課題
 - 1) 福祉政策と包括的支援
9. 福祉政策と関連施策
 - 1) 関連政策
10. 福祉サービスの供給と利用過程
 - 1) 福祉供給部門
 - 2) 福祉供給過程
 - 3) 福祉利用過程
11. 福祉政策の国際比較
 - 1) 福祉政策の国際比較

[社会福祉調査の基礎]

[目 標]

1. 社会福祉調査の意義と目的について理解する。
2. 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。
3. 社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。
4. 量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
5. 質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
6. ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。

[内 容]

1. 社会福祉調査の意義と目的
 - 1) 社会福祉調査の意義と目的
 - 2) 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係
 - 3) 統計法
2. 社会福祉調査における倫理と個人情報保護
 - 1) 社会福祉調査における倫理
 - 2) 社会福祉調査における個人情報保護
3. 社会福祉調査のデザイン
 - 1) 調査における考え方・論理
 - 2) 社会福祉調査の目的と対象
 - 3) 社会福祉調査でのデータ収集・分析
 - 4) 社会福祉調査のプロセス
4. 量的調査の方法
 - 1) 量的調査の概要
 - 2) 量的調査の種類と方法
 - 3) 質問紙の作成方法と留意点
 - 4) 質問紙の配布と回収
 - 5) 量的調査の集計と分析
5. 質的調査の方法
 - 1) 質的調査の概要
 - 2) 観察法
 - 3) 面接法
 - 4) 質的調査における記録の方法と留意点
 - 5) 質的調査のデータの分析方法
6. ソーシャルワークにおける評価
 - 1) ソーシャルワークにおける評価の意義

- 2) ソーシャルワークにおける評価対象
- 3) ソーシャルワークにおける評価方法

[ソーシャルワークの基盤と専門職]

[目 標]

1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。
2. ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。
3. ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。

[内 容]

1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ
 - 1) 社会福祉士及び介護福祉士法
 - 2) 精神保健福祉士法
 - 3) 社会福祉士及び精神保健福祉士の専門性
2. ソーシャルワークの概念
 - 1) ソーシャルワークの定義
3. ソーシャルワークの基盤となる考え方
 - 1) ソーシャルワークの原理
 - 2) ソーシャルワークの理念
4. ソーシャルワークの形成過程
 - 1) ソーシャルワークの形成過程
5. ソーシャルワークの倫理
 - 1) 専門職倫理の概念
 - 2) 倫理綱領
 - 3) 倫理的ジレンマ

[ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)]

[目 標]

1. 社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。
2. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。
3. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。
4. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。

[内 容]

1. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲
 - 1) ソーシャルワーク専門職の概念と範囲
 - 2) 社会福祉士の職域
 - 3) 福祉行政等における専門職
 - 4) 民間の施設・組織における専門職
 - 5) 諸外国の動向
2. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク
 - 1) ミクロ・メゾ・マクロレベルの対象
 - 2) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク
3. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容
 - 1) ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容
 - 2) ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義と内容

[ソーシャルワークの理論と方法]

[目 標]

1. 人と環境との相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。
2. ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。
3. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。
4. コミュニティワークの概念とその展開について理解する。
5. ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。

[内 容]

1. 人と環境との相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク
 - 1) システム理論
 - 2) 生態学理論
 - 3) バイオ・サイコ・ソーシャルモデル
 - 4) マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク
2. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ
 - 1) ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ
3. ソーシャルワークの過程
 - 1) ケースの発見
 - 2) インテーク
 - 3) アセスメント
 - 4) プランニング
 - 5) 支援の実施
 - 6) モニタリング
 - 7) 支援の終結と事後評価
 - 8) アフターケア
4. ソーシャルワークの記録
 - 1) 記録の意義と目的
 - 2) 記録の方法と実際
5. ケアマネジメント
 - 1) ケアマネジメントの原則
 - 2) ケアマネジメントの意義と方法
6. 集団を活用した支援
 - 1) グループワークの意義と目的
 - 2) グループワークの原則

3) グループワークの展開過程

4) セルフヘルプグループ

7. コミュニティワーク

1) コミュニティワークの意義と目的

2) コミュニティワークの展開

8. スーパービジョンとコンサルテーション

1) スーパービジョンの意義、目的、方法

2) コンサルテーションの意義、目的、方法

[ソーシャルワークの理論と方法(専門)]

[目 標]

1. 社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。
2. 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。
3. 社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。
4. 個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。

[内 容]

1. ソーシャルワークにおける援助関係の形成
 - 1) 援助関係の意義と概念
 - 2) 援助関係の形成方法
 - 3) 面接技術
 - 4) アウトリーチ
2. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発
 - 1) 社会資源の活用・調整・開発
 - 2) ソーシャルアクション
3. ネットワークの形成
 - 1) ネットワーキング
 - 2) コーディネーション
4. ソーシャルワークに関連する方法
 - 1) ネゴシエーション
 - 2) ファシリテーション
 - 3) プレゼンテーション
5. カンファレンス
 - 1) カンファレンス
6. 事例分析
 - 1) 事例分析
 - 2) 事例検討、事例研究
7. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際
 - 1) 総合的かつ包括的な支援の考え方
 - 2) 家族支援の実際

3) 地域支援の実際

4) 非常時や災害時支援の実際

[地域福祉と包括的支援体制]

[目 標]

1. 地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。
2. 地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。
3. 地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。
4. 地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。
5. 包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解する。
6. 地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。

[内 容]

1. 地域福祉の基本的な考え方
 - 1) 地域福祉の概念と理論
 - 2) 地域福祉の歴史
 - 3) 地域福祉の動向
 - 4) 地域福祉の推進主体
 - 5) 地域福祉の主体と形成
2. 福祉行財政システム
 - 1) 国の役割
 - 2) 都道府県の役割
 - 3) 市町村の役割
 - 4) 国と地方の関係
 - 5) 福祉行政の組織及び専門職の役割
 - 6) 福祉における財源
3. 福祉計画の意義と種類、策定と運用
 - 1) 福祉計画の意義・目的と展開
 - 2) 市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容
 - 3) 福祉計画の策定過程と方法
 - 4) 福祉計画の実施と評価
4. 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題
 - 1) 地域社会の概念と理論
 - 2) 地域社会の変化
 - 3) 多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ
 - 4) 地域福祉と社会的孤立

5. 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制
 - 1) 包括的支援体制
 - 2) 地域包括ケアシステム
 - 3) 生活困窮者自立支援の考え方
 - 4) 地域共生社会の実現に向けた各種施策
6. 地域共生の実現に向けた多機関協働
 - 1) 多機関協働を促進する仕組み
 - 2) 多職種連携
 - 3) 福祉以外の分野との機関協働の実際
7. 災害時における総合的かつ包括的な支援体制
 - 1) 非常時や災害時における法制度
 - 2) 非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援
8. 地域福祉と包括的支援体制の課題と展望
 - 1) 地域福祉ガバナンス
 - 2) 地域共生社会の構築

[福祉サービスの組織と経営]

[目 標]

1. ソーシャルワークにおいて必要となる、福祉サービスを提供する組織や団体の概要について理解する。
2. 社会福祉士に求められる福祉サービスの組織と沿革、経営の視点と方法を理解する。
3. 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論、労働者の権利等について理解する。
4. 福祉サービスに求められる福祉人材マネジメントについて理解する。

[内 容]

1. 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割
 - 1) 福祉サービスを提供する組織
 - 2) 福祉サービスの沿革と概況
 - 3) 組織間連携と促進
2. 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論
 - 1) 組織運営に関する基礎理論
 - 2) 集団の力学に関する基礎理論
 - 3) リーダーシップに関する基礎理論
3. 福祉サービス提供組織の経営と実際
 - 1) 経営体制
 - 2) 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス
 - 3) 適切な福祉サービスの管理
 - 4) 情報管理
 - 5) 会計管理と財務管理
4. 福祉人材のマネジメント
 - 1) 福祉人材の育成
 - 2) 福祉人材マネジメント
 - 3) 働きやすい労働環境の整備

[社会 保障]

[目 標]

1. 社会 保障の概念や対象及びその理念について、社会 保障制度の展開過程も含めて理解する。
2. 現代社会における社会 保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。
3. 社会 保障制度の財政について理解する。
4. 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。
5. 社会 保障制度の体系と概要について理解する。
6. 諸外国における社会 保障制度の概要について理解する。

[内 容]

1. 現代社会における社会 保障制度の現状(少子高齢化と社会 保障制度の関係を含む。)
 - 1) 人口動態の変化
 - 2) 経済環境の変化
 - 3) 労働環境の変化
2. 社会 保障の概念や対象及びその理念
 - 1) 社会 保障の概念と範囲
 - 2) 社会 保障の役割と意義
 - 3) 社会 保障の理念
 - 4) 社会 保障の対象
 - 5) 社会 保障制度の展開
3. 社会 保障と財政
 - 1) 社会 保障の財源
 - 2) 社会 保障給付費
 - 3) 国民負担率
 - 4) 社会 保障と経済
4. 社会 保険と社会 扶助の関係
 - 1) 社会 保険の概念と範囲
 - 2) 社会 扶助の概念と範囲
5. 公的保険制度と民間保険制度の関係
 - 1) 公的保険と民間保険の現状
6. 社会 保障制度の体系
 - 1) 医療保険制度等の概要
 - 2) 介護保険制度の概要

- 3) 年金保険制度の概要
 - 4) 労災保険制度と雇用保険制度の概要
 - 5) 生活保護制度の概要
 - 6) 社会手当制度の概要
 - 7) 社会福祉制度の概要
7. 諸外国における社会保障制度
- 1) 諸外国における社会保障制度の概要
 - 2) 社会保障制度の国際比較

[高齢者福祉]

[目 標]

1. 高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。
2. 高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。
3. 高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。
4. 高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

[内 容]

1. 高齢者の定義と特性
 - 1) 高齢者の定義
 - 2) 高齢者の特性
2. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境
 - 1) 高齢者の生活実態
 - 2) 高齢者を取り巻く社会環境
3. 高齢者福祉の歴史
 - 1) 高齢者福祉の理念
 - 2) 高齢者観の変遷
 - 3) 高齢者福祉制度の発展過程
4. 高齢者に対する法制度
 - 1) 介護保険法
 - 2) 老人福祉法
 - 3) 高齢者の医療の確保に関する法律
 - 4) 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(高齢者虐待防止法)
 - 5) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)
 - 6) 高齢者の居住の安定確保に関する法律(高齢者住まい法)
 - 7) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律(高齢者雇用安定法)
 - 8) 育児・介護休業法
5. 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割
 - 1) 高齢者と家族等の支援における関係機関の役割
 - 2) 関連する専門職等の役割
6. 高齢者と家族等に対する支援の実際
 - 1) 高齢者領域における社会福祉士の役割

2) 高齢者と家族等に対する支援の実際(多職種連携を含む)

[障害者福祉]

[目 標]

1. 障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。
2. 障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。
3. 障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。
4. 障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

[内 容]

1. 障害概念と特性
 - 1) 国際生活機能分類(ICF)
 - 2) 障害者の定義と特性
2. 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境
 - 1) 障害者の生活実態
 - 2) 障害者を取り巻く社会環境
3. 障害者福祉の歴史
 - 1) 障害者福祉の理念
 - 2) 障害観の変遷
 - 3) 障害者処遇の変遷
 - 4) 障害者の権利条約と障害者基本法
 - 5) 障害者福祉制度の発展過程
4. 障害者に対する法制度
 - 1) 障害者総合支援法
 - 2) 身体障害者福祉法
 - 3) 知的障害者福祉法
 - 4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)
 - 5) 児童福祉法
 - 6) 発達障害者支援法
 - 7) 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)
 - 8) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)
 - 9) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)
 - 10) 障害者の雇用の促進等に関する法律(障害者雇用促進法)
 - 11) 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達に関する法律(障害者優先調達推進法)

5. 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割
 - 1) 障害者と家族等の支援における関係機関の役割
 - 2) 関連する専門職等の役割

6. 障害者と家族等に対する支援の実際
 - 1) 障害領域における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割
 - 2) 障害者と家族等に対する支援の実際(多職種連携を含む)

[児童・家庭福祉]

[目 標]

1. 児童が権利の主体であることを踏まえ、児童・家庭及び妊産婦の生活とそれを取り巻く社会環境について理解する。
2. 児童福祉の歴史と児童観の変遷や制度の発展過程について理解する。
3. 児童や家庭福祉に係る法制度について理解する。
4. 児童や家庭福祉領域における支援の仕組みと方法、社会福祉士の役割について理解する。
5. 児童・家庭及び妊産婦の生活課題を踏まえて、適切な支援のあり方を理解する。

[内 容]

1. 児童・家庭の定義と権利
 - 1) 児童・家庭の定義
 - 2) 児童の権利
2. 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境
 - 1) 児童・家庭の生活実態
 - 2) 児童・家庭を取り巻く社会環境
3. 児童・家庭福祉の歴史
 - 1) 児童福祉の理念
 - 2) 児童観の変遷
 - 3) 児童・家庭福祉制度の発展過程
4. 児童・家庭に対する法制度
 - 1) 児童福祉法
 - 2) 児童虐待の防止等に関する法律
 - 3) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)
 - 4) 母子及び父子並びに寡婦福祉法
 - 5) 母子保健法
 - 6) 児童手当法
 - 7) 児童扶養手当法
 - 8) 特別児童扶養手当法
 - 9) 次世代育成支援対策推進法
 - 10) 少子化対策基本法
 - 11) 売春防止法
 - 12) 子ども・子育て支援法
 - 13) 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律

- 14) 子どもの貧困対策の推進に関する法律
 - 15) 子供若者育成支援推進法
 - 16) いじめ防止対策推進法
5. 児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割
 - 1) 児童や家庭に対する支援における公私の役割関係
 - 2) 国、都道府県、市町村の役割
 - 3) 児童相談所の役割
 - 4) その他の児童や家庭(女性、若者を含む)に対する支援にかかわる組織・団体の役割
 - 5) 関連する専門職等の役割
 6. 児童・家庭に対する支援の実際
 - 1) 社会福祉士の役割
 - 2) 支援の実際(多職種連携を含む)

[貧困に対する支援]

[目 標]

1. 貧困や公的扶助の概念を踏まえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について理解する。
2. 貧困の歴史と貧困観の変遷について理解する。
3. 貧困に係る法制度と支援の仕組みについて理解する。
4. 貧困による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

[内 容]

1. 貧困の概念
 - 1) 貧困の概念
 - 2) 公的扶助の意義と範囲
2. 貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境
 - 1) 貧困状態にある人の生活実態
 - 2) 貧困状態にある人を取り巻く社会環境
3. 貧困の歴史
 - 1) 貧困状態にある人に対する福祉の理念
 - 2) 貧困観の変遷
 - 3) 貧困に対する制度の発展過程
4. 貧困に対する法制度
 - 1) 生活保護法
 - 2) 生活困窮者自立支援法
 - 3) 低所得者対策
 - 4) ホームレス対策
5. 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割
 - 1) 貧困に対する支援における公私の役割関係
 - 2) 国、都道府県、市町村の役割
 - 3) 福祉事務所の役割
 - 4) 自立相談支援機関の役割
 - 5) その他の貧困に対する支援における関係機関の役割
 - 6) 関連する専門職等の役割
6. 貧困に対する支援の実際
 - 1) 社会福祉士の役割
 - 2) 貧困に対する支援の実際(多職種連携を含む)

[保健医療と福祉]

[目 標]

1. ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。
2. 保健医療に係る政策、制度、サービスについて理解する。
3. 保健医療領域における社会福祉士の役割と、連携や協働について理解する。
4. 保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

[内 容]

1. 保健医療の動向
 - 1) 疾病構造の変化
 - 2) 医療施設から在宅医療へ
 - 3) 保健医療における福祉的課題
2. 保健医療に係る政策・制度・サービスの概要
 - 1) 医療保険制度の概要
 - 2) 診療報酬制度の概要
 - 3) 医療施設の概要
 - 4) 保健医療対策の概要
3. 保健医療に係る倫理
 - 1) 自己決定権の尊重
 - 2) 保健医療に係る倫理
 - 3) 倫理的課題
4. 保健医療領域における専門職の役割と連携
 - 1) 保健医療領域における専門職
 - 2) 保健医療領域における連携・協働
5. 保健医療領域における支援の実際
 - 1) 保健医療領域における社会福祉士の役割
 - 2) 保健医療領域における支援の実際(多職種連携を含む。)

[権利擁護を支える法制度]

[目 標]

1. 法に共通する基礎的な知識を身につけるとともに、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解する。
2. 権利擁護の意義と支える仕組みについて理解する。
3. 権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。
4. 権利擁護活動を実践する過程で直面しうる問題を、法的観点から理解する。
5. ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解する。

[内 容]

1. 法の基礎
 - 1) 法と規範
 - 2) 法の体系、種類、機能
 - 3) 法律の基礎知識、法の解釈
 - 4) 裁判制度判例を学ぶ意義
2. ソーシャルワークと法の関わり
 - 1) 憲法
 - 2) 民法
 - 3) 行政法
3. 権利擁護の意義と支える仕組み
 - 1) 権利擁護の意義
 - 2) 福祉サービスの適切な利用
 - 3) 苦情解決の仕組み
 - 4) 虐待防止法の概要
 - 5) 差別禁止法の概要
 - 6) 意思決定支援ガイドライン
4. 権利擁護活動で直面しうる法的諸問題
 - 1) インフォームド・コンセント
 - 2) 秘密・プライバシー・個人情報
 - 3) 権利擁護活動と社会の安全
5. 権利擁護に関わる組織、団体、専門職
 - 1) 権利擁護に関わる組織、団体の役割
6. 成年後見制度
 - 1) 成年後見の概要
 - 2) 後見の概要

- 3) 保佐の概要
- 4) 補助の概要
- 5) 任意後見の概要
- 6) 成年後見制度の最近の動向
- 7) 成年後見制度利用支援事業
- 8) 日常生活自立支援事業

[刑事司法と福祉]

[目 標]

1. 刑事司法の近年の動向と制度の仕組みを理解する。
2. 刑事司法における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割について理解する。
3. 刑事司法の制度に関わる関係機関等の役割について理解する。

[内 容]

1. 刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境
 - 1) 刑事司法における近年の動向
 - 2) 刑事司法を取り巻く社会環境
 - 3) 社会福祉士及び精神保健福祉士の役割
2. 刑事司法
 - 1) 刑法
 - 2) 刑事事件の手続き、処遇
3. 少年司法
 - 1) 少年法
 - 2) 少年事件の手続き、処遇
4. 更生保護制度
 - 1) 制度の概要
 - 2) 生活環境の調整
 - 3) 仮釈放等
 - 4) 保護観察
 - 5) 更生緊急保護
 - 6) 団体・専門職等の役割と連携
5. 医療観察制度
 - 1) 制度の概要
 - 2) 審判・処遇の流れと内容
 - 3) 関係機関・専門職等の役割と連携
6. 犯罪被害者支援
 - 1) 犯罪被害者の法的地位
 - 2) 犯罪被害者支援に関する法
 - 3) 犯罪被害者支援に関する制度
 - 4) 団体・専門職等の役割と連携

[ソーシャルワーク演習]

[目 標]

1. ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。
2. ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解する。
3. ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。
4. ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。

[内 容]

個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により行うこと。

1. 自己覚知
 - 1) 自己理解と他者理解
2. 基本的なコミュニケーション技術
 - 1) 言語的技術(質問、促し、言い換え、感情の反映、繰り返し、要約等)
 - 2) 非言語技術(表情、態度、身振り、位置取り等)
3. 基本的な面接技術
 - 1) 面接の構造化
 - 2) 場の設定(面接室、生活場面、自宅等)
 - 3) ツールの活用(電話、e-mail 等)
4. ソーシャルワークの展開過程
事例を用いて、次に掲げる具体的なソーシャルワークの場面と過程を想定した実技指導を行うこと。
 - 1) ケースの発見
 - 2) インテーク
 - 3) アセスメント
 - 4) プランニング
 - 5) 支援の実施
 - 6) モニタリング
 - 7) 支援の終結と事後評価
 - 8) アフターケア
5. ソーシャルワークの記録
 - 1) 支援経過の把握と管理
6. グループダイナミクスの活用

- 1) グループワークの構成(グループリーダー・コリーダー・グループメンバー)
- 2) グループワークの展開過程(準備期・開始期・作業期・終結期)

7. プレゼンテーション技術

- 1) 個人プレゼンテーション
- 2) グループプレゼンテーション

[ソーシャルワーク演習(専門)]

[目 標]

1. ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。
2. 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。
3. 支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。
4. 地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。
5. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。
6. 実習を通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。
7. 実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。

[内 容]

〈ソーシャルワーク実習前に行くこと〉

個別指導並びに集団指導を通して、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により行うこと。

1. 次に掲げる具体的な事例等(集団に対する事例含む。)を活用し、支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得すること。
 - 1) 虐待(児童・障害者・高齢者等)
 - 2) ひきこもり
 - 3) 貧困
 - 4) 認知症
 - 5) 終末期ケア
 - 6) 災害時
 - 7) その他の危機状態にある事例
2. 1.に掲げた事例等を題材として、次に掲げる具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実技指導を行うこと。
 - 1) ケースの発見
 - 2) インテーク
 - 3) アセスメント
 - 4) プランニング
 - 5) 支援の実施

- 6) モニタリング
 - 7) 支援の集結と事後評価
 - 8) アフターケア
3. 2の実技指導に当たっては、次に掲げる内容を含めること。
- 1) アウトリーチ
 - 2) チームアプローチ
 - 3) ネットワーキング
 - 4) コーディネーション
 - 5) ネゴシエーション
 - 6) ファシリテーション
 - 7) プレゼンテーション
 - 8) ソーシャルアクション
4. 地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し、次に掲げる事項について実技指導を行うこと。
- 1) 地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握
 - 2) 地域アセスメント
 - 3) 地域福祉の計画
 - 4) 組織化
 - 5) 社会資源の活用・調整・開発
 - 6) サービスの評価

<ソーシャルワーク実習後に行うこと>

ソーシャルワークに係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導を行うこと。

1. 事例研究、事例検討
2. スーパービジョン

[ソーシャルワーク実習指導]

[目 標]

1. ソーシャルワーク実習の意義について理解する。
2. 社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。
3. ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。
4. 実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。

[内 容]

次に掲げる事項について個別指導及び集団指導を行うものとする。

1. 実習及び実習指導の意義(スーパービジョン含む。)
2. 多様な施設や事業所における現場体験学習や見学実習
3. 実際に実習を行う実習分野(利用者理解含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解
4. 実習先で関わる他の職種の専門性や業務に関する基本的な理解
5. 実習先で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術に関する理解
6. 実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解
7. 実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解
8. 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成及び実習後の評価
9. 巡回指導
10. 実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成
11. 実習の評価及び全体総括会

[ソーシャルワーク実習]

[目 標]

1. ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。
2. 支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)について把握する。
3. 生活上の課題(ニーズ)に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及びその評価を行う。
4. 施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解する。
5. 総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

[内 容]

実習生は次に掲げる事項について実習指導者による指導を受けるものとする。

1. 利用者やその関係者(家族・親族、友人等)、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成
2. 利用者やその関係者(家族・親族、友人等)との援助関係の形成
3. 利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)の把握、支援計画の作成と実施及び評価
4. 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解
5. 当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ
6. 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解
7. 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際(チームマネジメントや人材管理の理解を含む。)
8. 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解
9. ソーシャルワーク実践に求められる以下の技術の実践的理解
 - 1) アウトリーチ
 - 2) ネットワーキング
 - 3) コーディネーション
 - 4) ネゴシエーション
 - 5) ファシリテーション
 - 6) プレゼンテーション
 - 7) ソーシャルアクション

ソーシャルワーク実習指導担当教員は巡回指導等を通して実習生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、実習生の実習状況についての把握とともに実習

中の個別指導を十分に行うものとする。